

令和2年9月

交通企画課だより No. 9

8月末の交通死亡事故発生状況 ～資料を活用して事故をなくしましょう～



広島県警
反射材活用促進キャラクター
「キラリ☆マン」

8月末全死者数	43人
高齢死者数	19人
高齢者の構成率	44.2%

広島県警察本部
交通部交通企画課

交通死亡事故発生状況について(令和2年8月末現在)

1 全国・中国地方の死者数

※ 数値は速報値である。

区 分	本年	前年	前年対比	
			増減数	増減率
全 国	1,745人	1,925人	△ 180人	△ 9.4%
計	124人	149人	△ 25人	△ 16.8%
中国地方				
広島	43人	40人	3人	7.5%
鳥取	9人	21人	△ 12人	△ 57.1%
島根	9人	15人	△ 6人	△ 40.0%
岡山	42人	45人	△ 3人	△ 6.7%
山口	21人	28人	△ 7人	△ 25.0%

注) △は減少を、無印は増加を表す(以下同じ)。

【広島県の全国的位置づけ】

死者数43人～全国で死者数が多い順から13位

1位:愛知 95人, 最少:和歌山, 鳥取, 島根 9人

増減数3人増～全国で減少数が多い順から41位

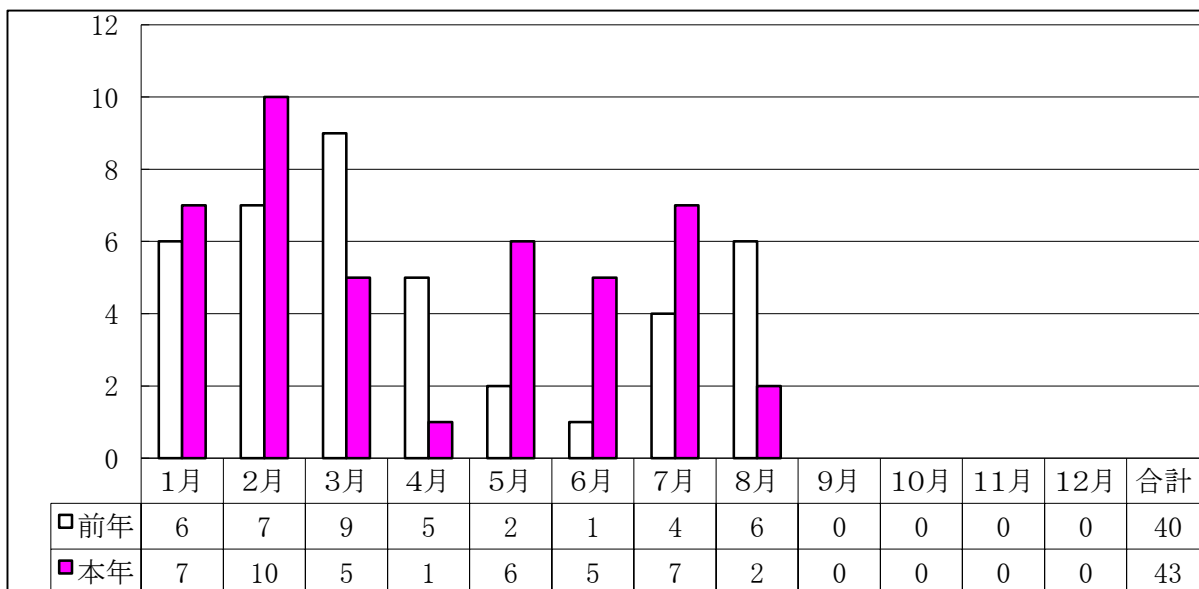
1位:岐阜 26人減, ワースト:東京 17人増

増減率7.5%増～全国で減少率が高い順から40位

1位:鳥取 57.1%減, ワースト:石川 100.0%増

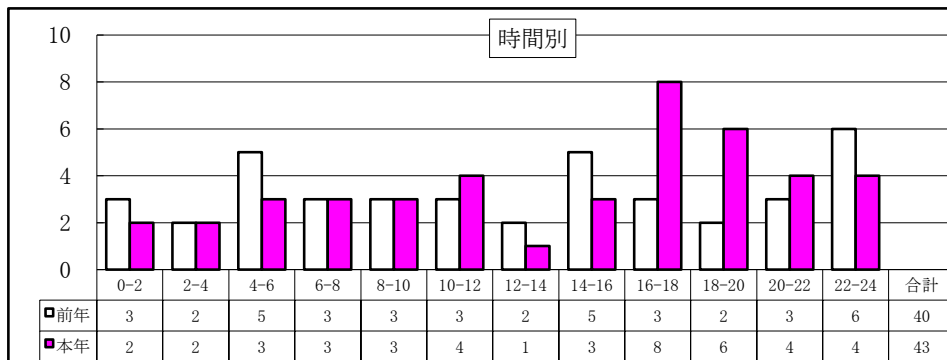
2 月別死者数の推移

※ 以下は広島県の状況

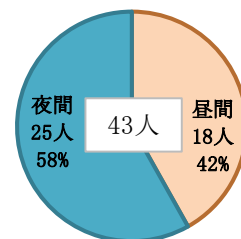


交通事故死者数

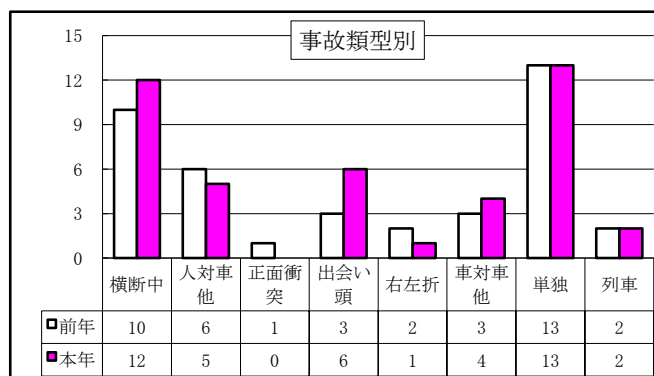
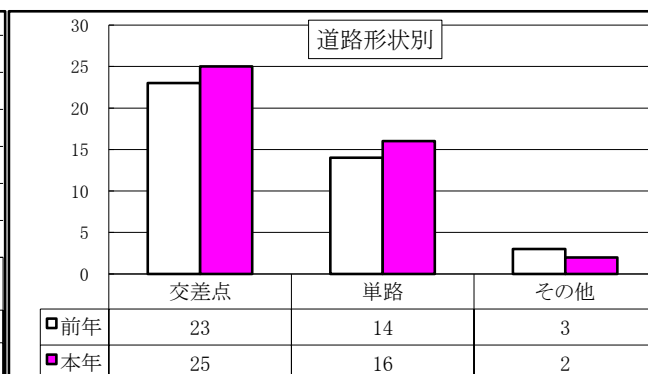
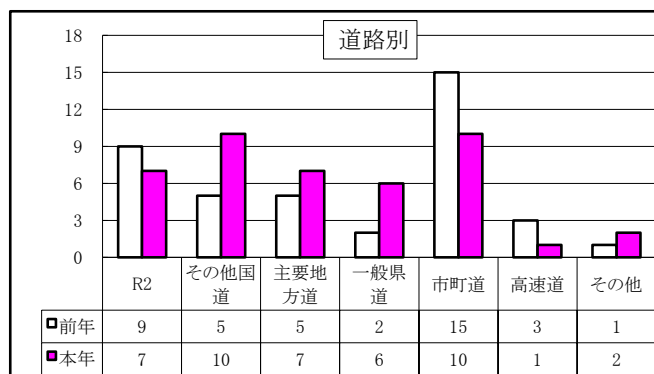
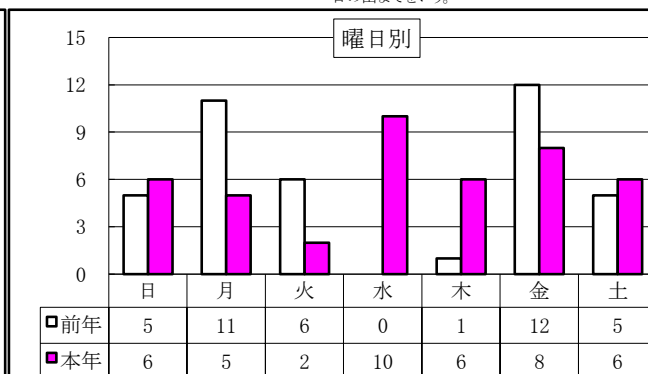
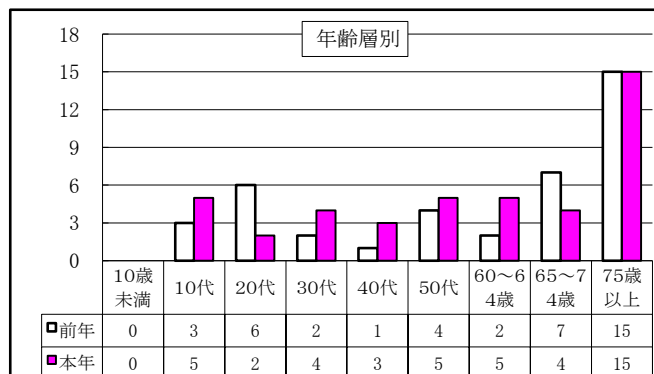
令和2年8月末現在



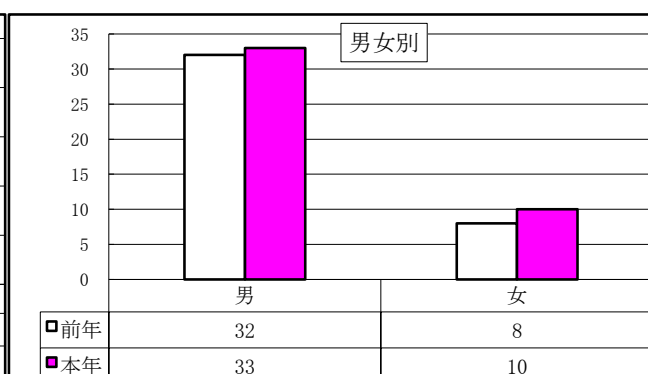
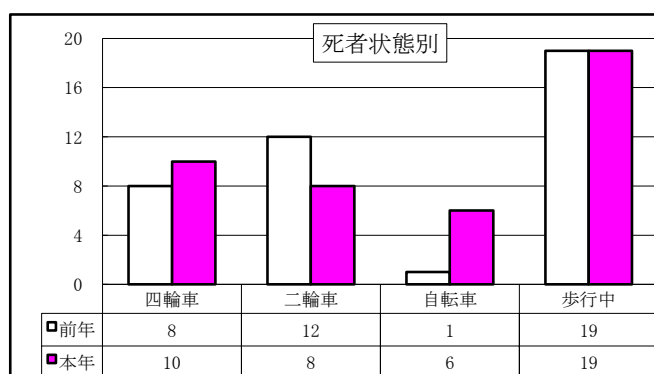
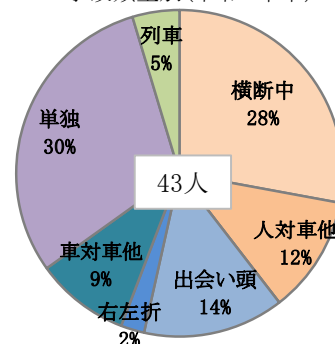
昼夜別(令和2年中)



※昼間とは日の出から日没までを、夜間とは日没から日の出までをいう。

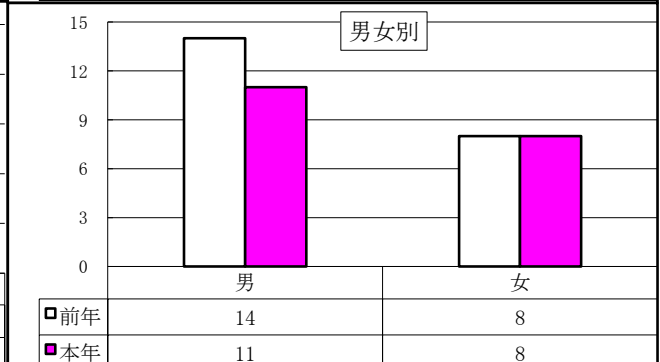
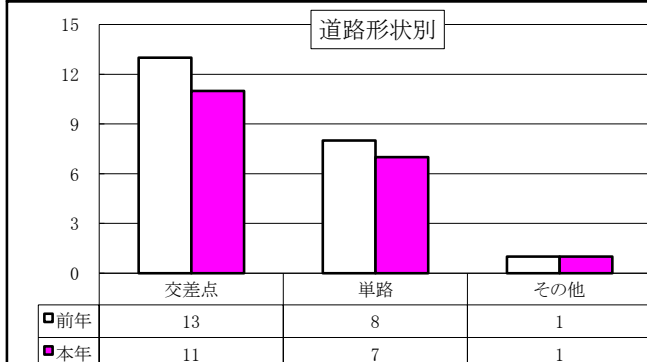
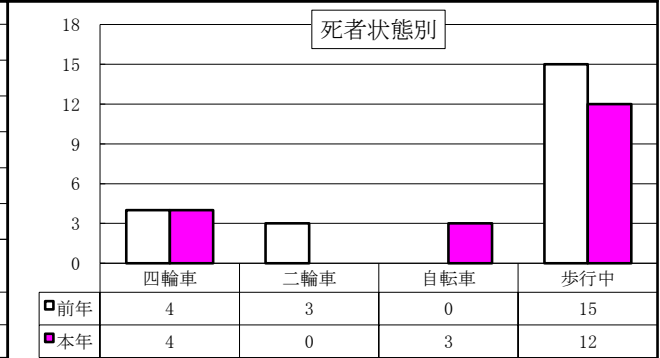
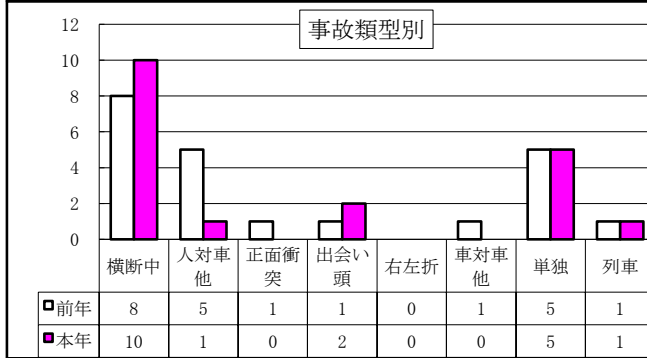
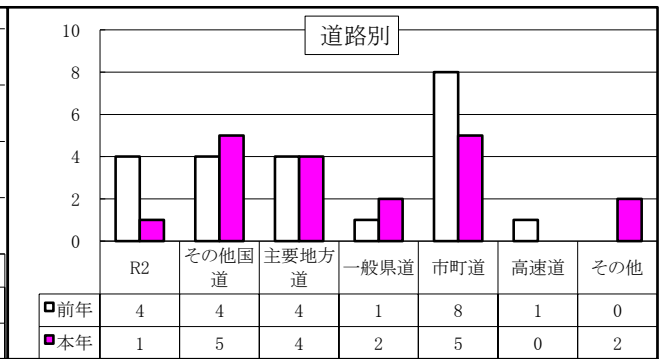
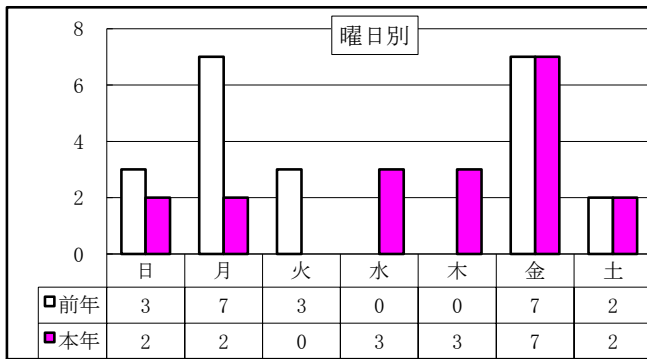
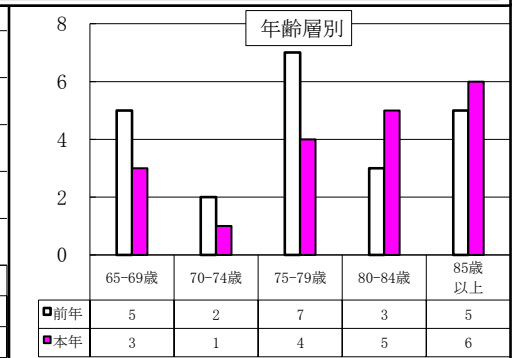
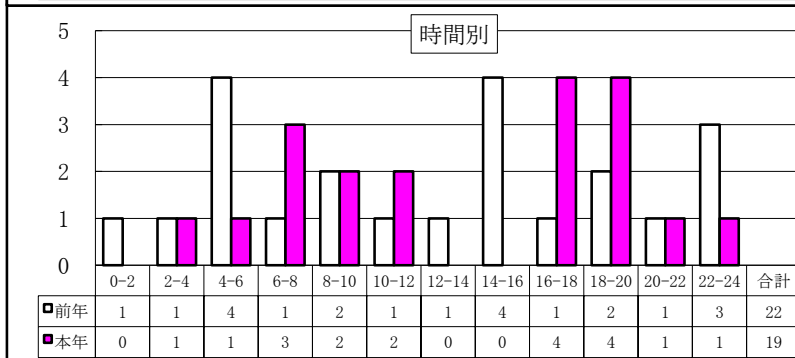
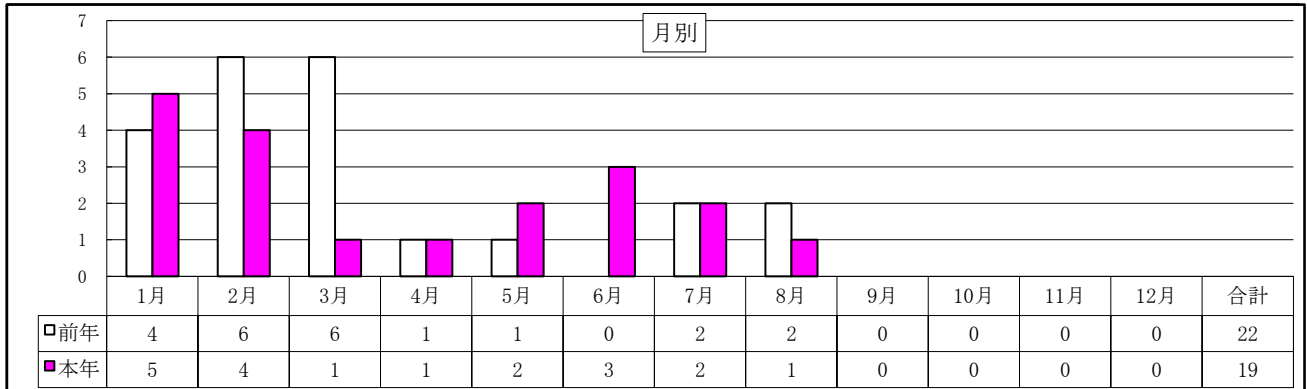


事故類型別(令和2年中)



高齢者の交通事故死者数

令和2年8月末現在



8月末現在の交通死亡事故の特徴

- 43人死亡で前年同期比3人増加
- 時間別では、16～18時の発生が特に多く、前年同期比5人増加
- 事故類型別では、車両単独が最も多く、全体の3割を占める
- 死者状態別では、歩行中が19人と最も多く、そのうち高齢者が12人
- 年齢層別では、75歳以上が15人と最も多い



速度抑制による事故防止！

～安全な速度で慎重に運転しよう～

広島県内では、9月に自動車及び二輪車運転者の最高速度違反による重大事故が多く発生しています。

速度を出し過ぎると、視野が狭くなる、衝撃力が増加するなど、交通事故のリスクが上がるとともに、死亡事故率も高くなります。

～運転時に気をつけること～

- ◎ 交通情勢に配慮した安全な速度で運転しましょう。特に通学路や狭い道路を通行する場合は、「飛び出してくるかもしれない」という意識を持ち、速度を控えて慎重に運転しましょう。
- ◎ 危険が発生した場合でも、安全に停止できるような速度で、十分な車間距離を保って運転しましょう。



歩行者の事故防止！

～夜間の時間帯は特に注意～

8月末現在、歩行中の交通事故死者数は19人であり、全体の約4割を占めています。歩行中死者19人のうち、15人が夜間に亡くなっています。また、年末にかけて日没時間が早くなり、夜間の事故が増加します。

～歩いて出かけるときは～

- ◎ 道路を横断するときは、左右をよく見て、車が近づいていないかしっかり確認しましょう。
- ◎ 夜間は、明るい服装やLEDライト・反射材を活用するなどして、自分の存在をアピールしましょう。



～運転するときは～

- ◎ 運転に集中し、昼間より速度を控えて走行しましょう。
- ◎ 暗くなったら早めにライトを点灯させ、対向車や先行車がない場合は、上向きライトを活用しましょう。

